

市立甲府病院 地域医療連携だより

平成 29 年
5 月号
Vol.18

基本理念「いのちに光を、心にやすらぎを」

いのちの大切さを重んじ、患者さんとの相互信頼の上に立った医療をめざします。



地域がん診療連携拠点病院

目次

- ◆院長就任あいさつ
- ◆新任医師紹介
- ◆地域医療連携勉強会開催
- ◆お知らせ
- ◆外来診療担当医表

院長就任あいさつ



院長 藤井 秀樹

各医療機関におかれましては、常に、当院の地域医療連携推進への積極的な取り組みに対しまして、ご理解とご協力さらにはご指導を賜っておりますことに、心より感謝申し上げます。

当院は、基本理念であります「いのちに光を、心にやすらぎを」のもと、また、当院が地域の中核病院であることを常に認識し、安全・安心で質の高い医療を継続的に地域に提供するとともに、地域の医療機関の皆様が多様なニーズを把握し、それらのニーズに誠実にお答えしてゆくという責務を負っております。すなわち、これらの責務を、地域の医療機関の皆様とともに、同じ方向を目指して地道に果たしてゆくことこそ、「地域医療連携」の推進そのものに他ならないと理解しております。

そのような観点から当院には「地域医療支援室」が設置されております。地域医療支援室では、地域に、現在も含め今後求められる真の医療需要のあり方を解析し、その結果を地域の多くの医療機関の皆様と共有することにより、未来を見据えた有効かつ円滑な相互連携を図ることを目的にしております。

また、患者さんが地域で継続性のある安全・安心で質の高い医療を享受できるよう、地域の各医療機関それぞれが個別に有する特色ある機能を、地域医療支援室が融合し、その特色を有効かつ迅速にそして最大限に生かすために、地域の医療機関の皆様と患者さんのかけはしとなるよう、地域医療支援室の充実を図っております。

今後も、何よりも皆様方とともに地域医療のさらなる発展、充実に努めてまいりたいと考えております。これまでと変わらず、ご指導ご鞭撻さらにはご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◆ 新任医師紹介 ◆

呼吸器内科

医師 増田 和記 (ますだ かずき)



本年4月から呼吸器内科に赴任いたしました増田和記と申します。
山梨大学を卒業後、山梨大学医学部附属病院で2年間の初期研修を終了し、本年度より山梨大学第二内科に入局いたしました。
山梨県で生活するようになり8年、今まで戴いてきたたくさんの御恩を呼吸器内科医として少しでも地域に帰すために、日々精進していく所存です。未熟な身ではありますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

循環器内科

医師 甲斐 貴彦 (かい たかひこ)

本年4月より循環器内科に赴任させていただきました甲斐貴彦と申します。山梨大学医学部を卒業後、山梨大学附属病院第二内科に入局し、昨年まで静岡県の藤枝市立総合病院に3年間勤務しておりました。循環器内科医ではありますが、高齢化社会の中で内科医という部分をしっかりベースにしながら、専門分野で良い医療を提供できるように努力していきたいと思っております。まだまだ経験不足な部分は多々ありますが、どうぞよろしくお願いいたします。



糖尿病・内分泌内科

医師 林田 亮介 (はやしだ りょうすけ)



本年4月より糖尿病・内分泌内科に赴任いたしました林田亮介と申します。
長崎県出身で山梨大学医学部に入学し、卒業後は山梨大学医学部附属病院にて2年間の初期研修を終了し、山梨大学第三内科に入局1年目です。まだまだ勉強中の身であり、多々ご迷惑をお掛けすることも多いかもしれませんが、糖尿病・内分泌内科のチームの一員として患者様が安心して、満足していただけるような治療を提供するべく日々努力していきます。何卒よろしくお願いいたします。

放射線科

科長 塚本 達明 (つかもと たつあき)

2017年4月より市立甲府病院放射線診断科に勤務することになった塚本達明です。2年ほど静岡県で勤務していたので、甲府のこれからの暑さに戦々恐々しています。

放射線診断科はCTやMRIなどのデジタル画像を読影する業務で、画像を介して各科に関与しています。何かと至らない点が多いと思いますが今後ともよろしくお願いいたします。

最後に、学生の際はバドミントンをしていました。最近、運動不足なので、機会があれば、羽根を打ちたいと思っています。



◆◆ 新任医師紹介 ◆◆

産婦人科

医長 平田 希 (ひらた のぞみ)

本年4月より産婦人科に赴任いたしました平田希と申します。
高知大学医学部卒業後、山梨大学医学部附属病院産婦人科教室に入局し、臨床経験を重ねてまいりました。

出産を機に臨床から離れていた時期もあり、久しぶりの現場にて緊張の毎日です。至らない点や御迷惑をおかけする面も多々あるかと思いますが、生まれ育った山梨で、すこしでも地域の医療に貢献できるよう頑張りたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。



産婦人科

医長 笹津 聡子 (ささづ さとこ)



本年4月に産婦人科に赴任してまいりました笹津聡子と申します。
平成19年卒業で山梨大学産婦人科に入局し、山梨県内の病院で勤務しておりました。産婦人科は気になる症状があっても受診がためらわれることもある科だと思います。出来るだけ細かい配慮するように心がけ、様々なことを気軽にご相談頂ければと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

麻酔科

医師 久保 英範 (くぼ ひでのり)

本年4月より麻酔科に赴任いたしました久保英範と申します。
埼玉県にある明海大学歯学部を卒業後、大学院に進学し本年3月に修了いたしました。また、3月まで明海大学歯学部附属病院歯科麻酔科に勤務しておりました。

出身も大学も仕事場も今まですべて埼玉県で、今回が初めての県外である山梨県です。この縁を大切に、山梨県を第2の故郷にしたいと考えております。

また大学病院とは勝手が違い、まだまだ慣れないことが多いですが質の高い医療を提供できるように日々診療に励んでいきたいです。
今後ともよろしくお願いいたします。



消化器内科

医長

川上 智 (かわかみ さとし)

第 66 回地域医療連携勉強会が開催されました

去る平成 29 年 3 月 8 日（水）、長田在宅クリニック院長 長田 忠大先生を演者にお向かえし、「病院・介護施設との連携から見てきたもの－当院における在宅医療の実践について－」をテーマに、100 名を越える医療・介護・福祉・調剤薬局関係者各位のご参加を頂き、開催することが出来ました。

当勉強会は、地域医療の資質の向上と地域の登録医の先生方と当院医師との交流を図るために開催しています。これからも登録医の先生方やご参加いただいた方々からのご要望を取り入れながら実地診療に役立つ演題を、用意して開催させていただきますので、ご要望、ご参加のほどよろしくお願いたします。

次回開催は平成 29 年 9 月を予定しております。



地域がん勉強会のお知らせ

今年度も、当院において、第 1 回「地域がん勉強会」を開催いたします。

日 程：平成 29 年 7 月 7 日
19：00～20：00

テーマ：「早期喉頭がんの診断と治療」

演 者：当院耳鼻咽喉科 黄医師

多数のご参加をお待ちしております。

「レスパイト入院」について

当院では、地域包括ケア病棟の空き病床を利用し、医療処置が必要な在宅患者のレスパイト入院（一時入院）をお受けします。

対 象 者：医療保険の対象となる患者

入院期間：原則として 7 日間

費 用：医療保険を適用します

受け入れ病床：空きベッドの利用となり、多床室、個室の選択は出来ません。

詳しくは、地域医療連携係までお問い合わせください。

地域医療連携係より

今年度より地域医療連携係の担当者が一部変更となりました。

小池・武藤・浅松・市川の 4 名で対応させていただきます。

不慣れではございますが、地域の先生方との連携がこれまで以上に強化できるよう努力してまいります。今後とも、よろしくお願いいたします。